

愛知師範學校規則

4
4/2

館書圖京東

函 五 一 門 新

架 一 一 部 三 一

號 三 三 四 五 類 八

朱

特30 :

790

丙三
一
本

愛知師範學校規則

愛知師範學校規則

目次

- 第一款
- 第二款
- 第三款
- 第四款
- 第五款
- 第六款
- 第七款
- 第八款
- 第九款
- 第十款
- 第十一款



明治九年交付
愛知師範學校

入學規則

私費生入學規則

教則

試業及證書授與規則

舍則

級長事務

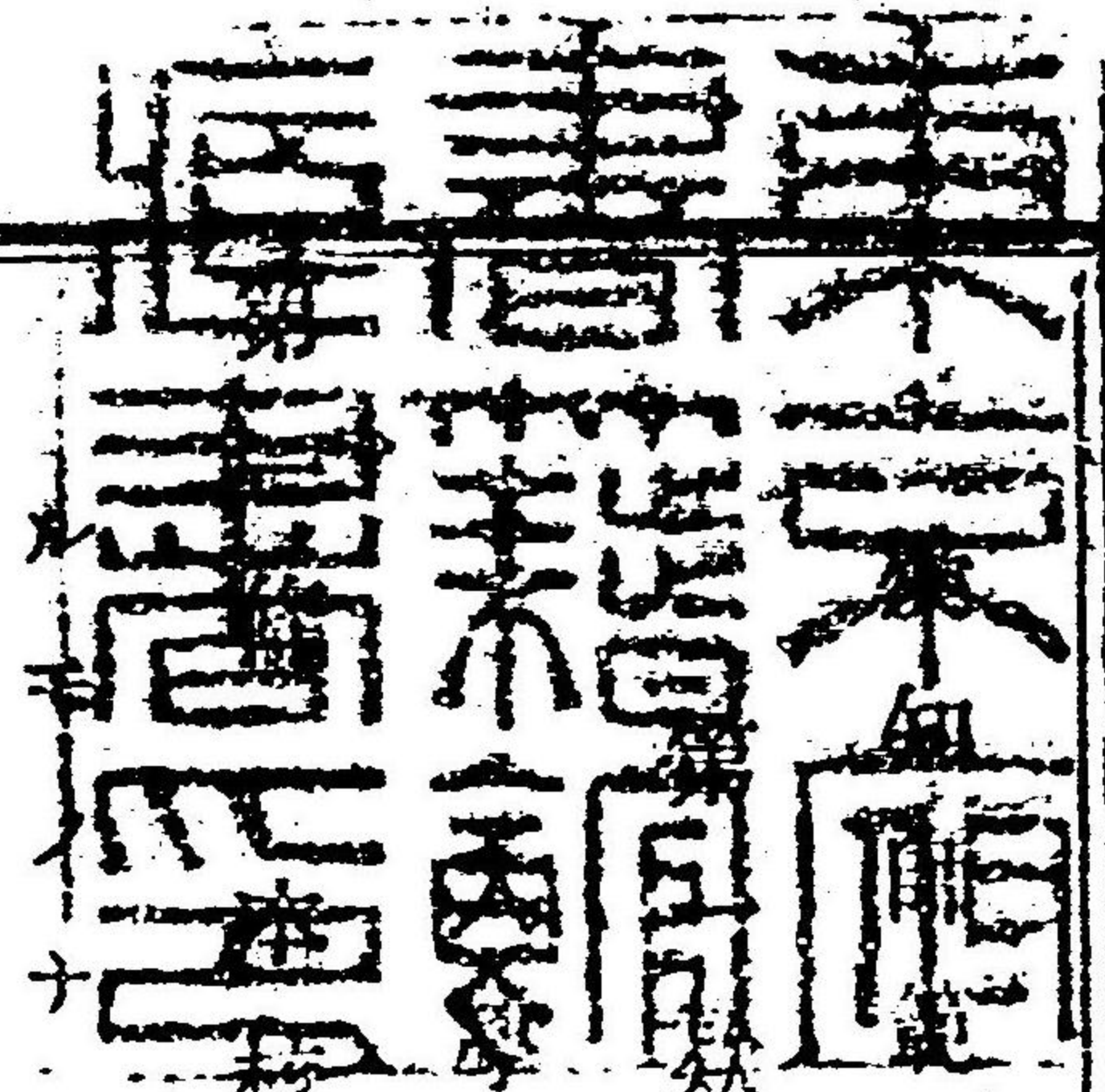
支給規則

禁條

罰則

學歲

休業日



學校規則

規則

生徒ハ他日小學師範トナリテ幼年ノ子弟ヲ教導ス
 質ノ六者ヲ斟酌檢定シテ而シテ後入學ノ許否ヲ決スルモノナリ
 第二條 才敏行正ニシテ尋常普通ノ書ヲ講讀シ得且略算術ヲ學ヒ
 得タル者ヲ選舉ス

第三條 年齢ハ大凡二十年以上三十五年以下トス

第四條 体質壯健ニシテ種痘或ハ天然痘ヲ爲セシ者ニ非レハ入學
 ナ許サス故ニ入校ノ時先ツ醫師ヲシテ検査セシム

第五條 性質ハ質朴質直忍耐温順ナル者ヲ取ルナ法トス

第六條 入學ハ毎歲兩度ニシテ定期試業ノ後ト定ム尤モ其期日及

ヒ募集生徒ノ員數等ハ前以テ文部省ヨリ報告アルベシ

但時宜ニ因リ定時ノ外臨時入學ヲ許ス事有ルベシ

第七條 生徒ヲラン事ヲ欲スル者ハ入學ノ期ニ望ミ第一号書式保證狀及ヒ第二号書式學科等ノ履歷書ヲ以テ本校へ願出ツ可シ

第八條 參校スル者ハ本校試験規則ニ因リ讀書講義作文セシメ算術ハ問題ニ依リ法式ヲ作テ答書セシム

第九條 試験ノ上及第ノ者ハ第三号書式證書ヲ出スベシ

第十條 生徒ハ半途退學スルヲ許サス

第十一條 毎歲一廻醫師ヲシテ身体ヲ検査セシム若疾病ヲ醸シ成業ノ目的ナキモノハ退學ヲ命スヘシ

第十二條 學力不相當ニテ落第シタル者ト雖トモ再ヒ私費入學ヲ願フトキハ詮議ノ上差許スコトアルベシ

第二款

私費生徒入學規則

第十三條 私費入學ヲ願フモノハ第四号書式保證狀及ヒ第二号書式學科等ノ履歷書ヲ以テ本校へ願出ツベシ

第十四條 年齢ハ大凡十六年以上四十五年以下トス

第十五條 試験ノ法方ハ官費生ヨリ寬易ナルヲ旨トスト雖モ亦身体學術行狀ノ三者ヲ検査セザルヘカラズ故ニ一應其履歷ヲ問ヒ且讀書算術ノ二場ニ因テ其業ヲ試ム

第十六條 試験ノ上入學許可ヲ得タルモノハ第五号書式ノ證書ヲ差出スベシ

第十七條 通學脩業ヲ以テ一般ノ規則トナスト雖モ校内餘舍アルトキハ入舍差許スコトアルベシ

第十八條 授業ノ方法ハ官費生徒ト異ナルコトナシ

第十九條 學力未熟ナルモノハ別ニ近易ノ學課ヲ設ケ本科ニ進ム

ノ階梯トス

第二十條 受業料ハ金貳拾五錢ト定メ毎月末之ヲ會計課ニ納メシム
但貧困ニシテ全額ヲ納ムル能ハサルモノハ區戸長與印アル證
書ヲ以テ願出ルトキハ詮議ノ上其半額ヲ収メシムベシ
第二十一條 本校教則罰則等ノ遵守スヘキハ全ク官費生徒同様ニ
シテ一モ寬貸アルコトナシ

第二十二條 卒業ノ上學力ニ從テ證書ヲ附與スルコト官費生徒ニ同シ

第三款

教則

第二十三條 小學ニ在テハ專ラ國語ヲ以テ諸學科ヲ教誨スルノ旨
タルガ故ニ本校ニ於テモ和漢文書及ヒ翻譯書類ヲ用ヰテ教授ス
ルヲ法トス

但翻譯書類未ダ全備セザルヲ以テ學科ニヨリテハ直ニ洋書

ヲ講譯シテ口授スルモノアルベシ

第二十四條 本校ノ教科ヲ四級ニ分テ各級六ヶ月ノ課程トス故ニ
在校二年ヲ以テ全科卒業ノ目的トスベシ

第二十五條 授業時間ハ毎日五時間即チ一週三十時間ト定ム
但就業ノ時限ハ日ノ長短ニヨリ時々變更ス故ニ其度毎ニ告示
スル者トス

第二十六條 生徒ノ經歷スベキ學科ヲ豫示シ以テ將來ノ目的ヲ定
メシメンガ爲メ則學科表ヲ製シテ左ニ掲ク

學科表

全科卒業二年			
初	一	次	一
初	一	一	一
初	二	三	末
期六ヶ月	二期六ヶ月	三期六ヶ月	末期六ヶ月

生理學	物理學	博物學	史學	地理學	數學	文學	小教科書會議	第四級
諸汎 樞管能論	水運 氣動 論力		日本國 中古史 近世	日本國 亞細亞 之部	定數命位加 減乘除分數	文法	同	第四級
健全學	光熱 論論	植動 物物	亞細亞 亞米利加 史	亞米利加 歐羅巴 之部	比 開平開 立例	私用文 公用文	小學授業法	第三級
	電氣吸 鍊力	地金 質石	歐羅巴 亞米利加 史 大洋洲	亞米利加 歐羅巴 之部	代 幾何 數	記簿法	同	第二級
								第一級

化學	修身學	經濟學	圖畫	体操
	同	同	同	同
總論	同	同	同	同
諸元素	同	同		

第二十七條 第一級ハ專ラ附属小學ノ幼年生徒ヲ受持マシメ授業ノ方法ヲ實際ニ施行セシム

第四款

試業及證書授與規則

第二十八條 隔月末毎ニ小試業ヲ爲シ各生徒ノ優劣ヲ判シ以テ其坐次ヲ進退ス學歲一期毎ニ大試業ヲ行ヒ學力ノ進否ヲ檢シ以テ

其等級ヲ定ム

但學力優等進步非常ナルモノハ臨時試業ヲ行ヒ等級ヲ昇進
スルコトアルベシ

第二十九條 試業ノ上學力不滿ニシテ進級ニ當ラサルモノハ尙元
級ニ置テ溫習セシム

第三十條 試業ニ臨席ノ者ハ學校長監事及ヒ教員トス

但何人ニ限ラズ請求ノ者ニハ來觀ヲ許ス可シ

第三十一條 全科卒業ノ上大試験ヲ行ヒ及第ノ證書 書式 第六号 第
ヲ授與
スベシ

第五款

舍則

第三十二條 凡ソ生徒舍ニ在テハ舍則ヲ遵守シ課業ヲ精勵シ信義
禮讓ヲ以テ交和スルヲ要ス

第三十三條 監事級長ノ意令ニ背クヘカラズ

第三十四條 夏冬休業中ノ外歸郷或ハ下宿スルヲ許サズ

但止テ得サルノ事故アリテ歸郷或ハ下宿ヲ願出ツルモノハ事
實糺明ノ上相當ノ處分ニ及ブベシ

第三十五條 毎土曜日放課後舍中ヲ掃除シ器具ヲ整頓シ監事生徒
掛ノ檢查ヲ受クベシ

但シ檢査後ハ外出ヲ許スベシ

第三十六條 醜惡汚穢ノ衣服器什類ヲ持用スル莫ク務メテ潔白清
淨ニ注意スベシ

第三十七條 晨起就食散步就眠等ノ時限其他告知スベキ事件ハ總
テ警籍縱覽處ニ揭示スルヲトス

第三十八條 晨起後直ニ寢褥ヲ収メ室内ヲ掃除シ寢衣ヲ着換ヘ
テ盥嗽スベシ

第三十九條 擊柝ヲ以テ食時ヲ報スルトキハ徐カニ食堂ニ赴キ互ニ一禮ヲ爲シ食ニ就ク可シ

第四十條 止ヲ得サルノ事故アルニ非レハ毎日散步欠ヘカラズ
第四十一條 出入ハ必ス門札ヲ所持ス可シ

第四十二條 門外ニ於テ本校諸員ニ遭遇セハ必ス禮節ヲ盡スベシ
第四十三條 外出散歩中ハ殊更風俗ヲ正フシ言語ヲ慎ミ苟モ學生ノ恥ツベキ所行アルベカラズ

第四十四條 外出中急病發作シテ門限ニ後ル、トキハ必ス醫證ヲ携ヘ歸舍スベシ

第四十五條 止ムヲ得サル儀ニテ臨時外出ヲ願フモノハ事實ヲ糾明シ事宜ニ因テ差許スニトアルベシ

第四十六條 定刻ニハ必ス點火ヲ滅シテ寢辱ニ就ク可シ
第四十七條 病氣ニテ欠課スベキ時ハ先其病由ヲ級長ニ密ケ一應

檢査ヲ受ケ次ニ醫員ノ診察ヲ經醫證ヲ取テ監事ニ届出ツヘシ

第四十八條 總テ病患者ハ醫員許可ノ證アルニ非レハ外出ヲ許サズ
第四十九條 病氣ニテ欠課中ハ名刺ヲ監事局ニ差出スヘシ

第五十條 傳染病或ハ重病ニ罹ル者ハ醫員ノ診斷ニ因リ病室ニ入レテ治療セシムルカ又ハ下宿歸郷ヲ命スルコトアルベシ

第五十一條 病患者全癒ノ上出席之節ハ醫員ノ證書ヲ差出スヘシ
第五十二條 來客アルトキハ必ス應接所ニ於テ面會スベシ
但病患者ハ此限ニアラス

第六款

級長事務

第五十三條 各級中衆望アル者ヲ舉ケ名ケテ級長トス其在務學歲一期ニシテ大試業ノ後各級生徒ノ投票ニ因テ公選スルヲ則トス

第五十四條 級長ハ級中生徒ノ勉業ヲ補助シ行狀ヲ督正シ若シ過

失アルトキハ懇切ニ忠告スルヲ以テ其任トス
第五十五條 級長ハ恰モ給中ノ代議者ニシテ其生徒ノ歸説ヲ代議
シ且其能否勤惰等一切監事ト共議スルノ權ヲ有ス
第五十六條 教場ニ於テ業ヲ受クル他ノ生徒ト異ナルコトナシ
第五十七條 級長ヲ勤ムル者コハ滿期ニ至リ相當ノ報酬ヲ附與ス
第五十八條 級長改選ノ時ニ當リ衆望アリテ前任者ヲ復舉スルモ
妨ケナシトス故ニ前任者再任ヲ欲セサルモノハ投票前其旨ヲ届
出スベシ

第七款

支給規則

第五十九條 生徒ノ學資ハ學校ヨリ支給スベシ其金額ハ一人コ付
一ヶ月金八圓ト定メ生徒自ラ支消スルモノトス
但入學後三ヶ月間ハ試験生徒トシテ一ヶ月金五圓給與シ篤ト

行狀性質等ヲ試ニ適當ノ者ハ學資全額ヲ支給スベシ

第六十條 學資金内食料豫備金書籍繕繕料等ヲ引去リ毎月二十五
日其殘額ヲ渡スベシ

但食物ヲ旨美ニスルハ健康ヲ保ツノ緊要アリ故ニ食料ヲ収メ
シメ學校ヨリ之ヲ賄フモノトス

第六十一條 豫備金ハ毎月五拾錢宛會計課ニ預リ置キ生徒非常入
費ノ節事實糺明ノ上相渡スベシ

但シ殘額ハ卒業ノ節相渡スベシ

第六十二條 學資ハ日割ヲ以テ給シ止ムヲ得サル事故アツテ私ニ
歸郷下宿スルトキハ其當日ヨリ給セス歸校スル日ヨリ給與スル
ヲ法トス

第六十三條 第五十條ノ例ニ因テ下宿歸郷ヲ欲シタル者ニハ尙學
資ヲ給與シ置ベシ

第八款

禁條

- 第六十四條 教場ニ於テ書籍器械等ヲ取亂ス事
- 第六十五條 教場及ヒ舍内ヲ猥ニ奔走スル事
- 第六十六條 舍室内ノ掃除ヲ怠リ書籍器械衣服等ヲ取亂ス事
- 第六十七條 猥リニ集會雜談或ハ小説稗史ヲ讀ニ無用ノ書畫其他玩弄物ヲ取扱フ事
- 第六十八條 正課時間他席ヲ犯ス事
- 第六十九條 放歌吟詩スル事
- 第七十條 教場ニ在テ私ニ談話スル事
- 第七十一條 教場ニ在テ喫烟スル事
- 第七十二條 許可ナク猥リニ教場ニ入ル事
- 第七十三條 外出中校章アル帽子ヲ被ラサル事

- 第七十四條 土曜日掃除ヲ惰ムル事
- 第七十五條 他ノ勤學及ヒ安眠ヲ妨グル事
- 第七十六條 外來人ヲ許可ナク舍室内ニ入レ應對ヲナス事
- 第七十七條 學校品ヲ粗暴ニ取扱フ事
- 第七十八條 猥リニ金錢貸借ヲナス事
- 第七十九條 茶菓ヲ除クノ外食物ヲ許可ナク室内ニテ用フル事
- 第八十條 校内ニ在テ瓦石彈丸ノ類ヲ擲テ或ハ樹木草花ヲ斬折スル事
- 第八十一條 塙墻屋上ニ登ル事
- 第八十二條 建物ニ瑕ヲ付ケ或ハ樂書スル事
- 第八十三條 出門定例ノ外許可ヲ待タズ外出スル事
- 第八十四條 校内ニ在リ飲酒スル事
- 第八十五條 喧嘩口論スル事

第八十六條 獲リハ凶器ヲ取扱フ事

第八十七條 不得止事故アリト雖モ斷テ歸舍セズ他ニ泊スル事

第九款

罰則

第八十八條 禁條第六十四ヨリ第七十三ニ至ルノ箇條ヲ犯シタル者

第八十九條 教場出席ノ時限ニ後レタル者

第九十條 教場出席ノ節書籍石盤等必用ノ品ヲ失忘スル者

第九十一條 外出ノ節名刺ノ取扱ニ失錯アル者

第九十二條 晨起ノ時限ヲ守ラサル者

第九十三條 音讀ヲ止ムル時限ヲ守ラサル者

第九十四條 食事ノ時限ヲ守ラサル者

第九十五條 門限後十分以内ニ歸舍スルモノ

以上ハ一週間門外ノ散歩ヲ禁ス

第九十六條 禁條第七十四ヨリ第八十二ニ至ルノ箇條ヲ犯シタル者

以上ハ二週間門外ノ散歩ヲ禁ス

第九十七條 禁條第八十三ヨリ第八十六ニ至ルノ箇條ヲ犯シタル者

第九十八條 級長ノ指示ニ背ク者

第九十九條 門限後十分以外ニ歸舍スル者

以上ハ三週間門外ノ散歩ヲ禁ス

第一百條 學校ノ物品ヲ失ヒタル者

以上ハ三週間門外ノ散歩ヲ禁シ且失品ノ定價ヲ本人ヨリ償還セ

シム

第一百一條 禁條第八十七ヲ犯シタル者

第一百二條 怠惰不勉強ニシテ學校長監事教員等ノ戒諭ヲ用セザル

モノ

第一百三條 數度校則ヲ犯スモノ

第四百四條 一己ノ私ヲ披ニ他生ヲ煽動シ監事教員或ハ學校長ニ抗スル類ノモノ

以上ハ退學ヲ命シ改良學校ニ入レテ改心セシメ興實悔悟ノ證ヲ表スルヲ待テ再ヒ公私學校ニ轉ズルヲ法トス

但即今改良學校ノ設完全ナラサルヲ以テ相當ノ使役ヲ命シテ改良學校ニ入ルノ法ニ代フ可シ

第十款

學歲

第一百五條 學歲ハ總テ九月一日ニ始マリ翌年七月十五日ニ終ル

第一百六條 學歲ハ二期ニ分ツ則第一期ハ九月一日ヨリ二月十四日

ニ至リ第二期ハ二月十五日ヨリ七月十五日ニ至ル

第十一款

休業日

日曜日

夏期 七月十六日ヨリ八月卅一日マテ

冬期 十二月廿五日ヨリ翌年一月三日マテ

紀元節 二月十一日

天長節 十一月三日

第壹號書式

用紙美濃紙

何府何族平民離子

姓 名

何年何ヶ月

右之者儀御校へ入學志願之趣申聞候間從來之行狀相糺候處不都合之虞無之ニ付別紙履歷書持參爲致申候可然御取計有之度依テ保證狀差出候也

何府何大區何小區何國何郡
何村何町何番地住居或ハ寄留

年月日

何府何族平民
證人 姓 名 印

愛知師範學校
御中

第二號書式 用紙美濃紙

何縣何族平民誰子
姓 名
何年何月
生所何府何大區何小

區何國何郡何村何町
宿所同上何番地住居或ハ寄留

年月日何所誰ニ就キ何學科修業
及ヒ出處進退賞罰等ニ關スル履歷詳細ニ記載スル
年月日何所誰ニ就キ何學科修業
和算何々修業
洋算何々修業
及ヒ出處進退賞罰等ニ關スル履歷詳細ニ記載スル

年月日

第三號書式 用紙美濃紙

私儀小學訓導タルヘキ志願ヲ以テ御校へ入學御許
可學資御給與被下置候旨致願承候就テハ御規則之
通相守可申仍テ證書差出候也

何國何郡何村何町何番地
何府何族平民

年月日

本人

姓名印

何年何月

右之通相違無之候也

父母或ハ證人

何縣府何族平民

證人姓名印

愛知師範學校

御中

第四號書式

用紙美濃紙

何縣府何族平民誰子

姓名

何年何月

右之者儀私費ヲ以テ御校ニ入學志願之趣申聞候間

從來之行狀相糺候處不都合之處無之ニ付別紙履歷書持參爲致申候可然御取計有之渡依テ保證狀差出候也

何縣府何大區何小區何國何郡

何村何町何番地住居或ハ寢

所

何縣府何族平民

證人姓名印

年月日

愛知師範學校

御中

第五號書式

用紙美濃紙

私儀御校ニ私費入學御許可相成候旨致願承候就テ

御規則之通相守可申仍テ證書差出候也

何國何郡何村何町何番地

何府何族平民

年月日

本人

姓

名

印

何年何ヶ月

右之通相違無之候也

父母或ハ證人

何府何族平民

證人

姓

名

印

愛知師範學校

御中

第六號書式

用紙文部省證書料紙

證書

愛知師範

學校之印

何府族籍

姓

名

何年何ヶ月

小學師範學科卒業候事

年号月日

愛知師範學校

第幾號

附屬小學校規則

附屬小學校規則

第一章 本旨

第一條 今此附屬小學ハ本校生徒組成業ノ者ヲシテ猶實地ニ就テ其教法ヲ研究シ教育ノ道ヲシテ益精確ヲ極メシメシメ爲ニ設立スル處ノ者ニシテ其教法ノ如キハ專ラ本校ノ正則ニ從ヒ教授スルモナリ

第二條 此校ハ各地小學ノ模範トモ成ルベキモノナシハ入校ノ者其學業ヲ勉勵スヘキハ勿論總テ入考出第ノ數ニ從ヒ容儀進退ニ至ルマテ殊更順民ヲ旨トシ必ズ暴慢ノ振舞等アルヘカラズ

第二章 入學

第三條 入學期日ハ一年兩度ニシテ春秋大試業ノ後トス尤モ欠員アルハ臨時入學ヲ許スアルヘシ

第四條 入學ヲ願フ者ハ何人ヲ論セズ左ノ撰ニ稱フ者ハ之ヲ許ス

第五條 年齡ハ六年以上十年以下トス

但シ時宜ニヨリ此限外ノ事アルヘシ

第六條 體質壯健ニシテ種痘或ハ天然痘ヲ爲セシ者タルヘシ

第七條 此校ニ入ル者ハ事故アルニ非レハ半途退學ヲ許サス必ス

上下二等ノ小學科ヲ卒業スルヲ要ス故ニ在校ノ年限凡ソ八ケ年

トス

第八條 生徒ヲラソコトヲ望ム者ハ左ノ書式ヲ以テ本校ヘ願出ツ

ヘシ

願書式 用紙美濃紙堅二ツ折ニ
認メ二通差出スヘシ

何府 何族 平民 誰子女

姓 名

何年何ケ月

右之者今般御校附属小學校へ入學爲致度此段相願
候也

何府 下何大區 何小區 何村 何

町 何番地 住

何府 何族 平民 誰父母 或ハ親

族

年号 月日

姓 名 印

愛知師範學校

御中

第九條 入學許可ヲ得タル者ハ左ノ證書ヲ出スヘシ

證書式 用紙美濃紙堅二ツ折ニ
認ノ二通差出スヘシ

私儀今般御校附属小學校へ入學御許可相成候ニ付
テハ御校則堅ク相守可申依テ證書差出候也

何府 何族平民誰子女

姓 名 印

何年何ヶ月

右之通相違無之候也

何縣 何大區何小區何村町

何番地住

何府 何族平民誰父母或ハ親

族

年号月日

証人

姓

名

印

愛知師範學校

御中

第三章

學則及ヒ試業

第十條 學課順序修業時間等ハ總テ本校編纂ノ小學教則ニ準スヘシ

第十一條 授業一日四時半トシ就業ノ時限ハ日ノ長短寒暑ニヨリ
テ時々變革アルヘシ

第十二條 出校中ハ總テ教師ノ指令ニ隨フヘキ事

第十三條 出校ハ必ス定刻前三十分タルヘシ

第十四條 病氣或ハ事故有之節ハ修業時間前ニ届書差出スヘシ

但シ病氣ニテ七日以上欠席スル者ハ醫証差出スヘシ

第十五條 飲食出入等ハ必ス遜讓ヲ旨トシ苟クモ争躁ノ振舞アル
ヘカラス

第十六條 校外ニ於テ校中諸員ニ逢フキハ必ス禮式ヲ行フヘシ

第十七條 每級卒業ノ節ハ試験ノ上左ノ卒業證書ヲ附與スヘシ

何府何族平民誰子女

姓名

何年何ヶ月

愛知師範
學校之印

上等小學第何級卒業候事

年号月日

愛知師範學校

第幾號

用紙文部省
證書料紙

第十八條 試験ノ節ハ父母親族ニ限ラス何人ト雖モ參觀ヲ許スベシ

第四章 教場規則

第十九條 入場ノ時限ニ後ルベカラス

第二十條 猥リニ談話スベカラス

第二十一條 許可ナク出入スベカラス

第二十二條 玩弄物ヲ持扱フベカラス

第二十三條 諸器械ニ觸ルベカラス

第五章 受業料及ヒ書籍

第二十四條 受業料ハ金三錢ト定メ毎月二十五日はチ雜務掛ヘ納ムベシ

第二十五條 一家二人ヲ入學セシムルモノハ一人ハ受業料ノ半高ヲ納ムベシ三人以上アル時ハ二人ノ外受業料ヲ出スニ及ハス

第二十六條 書籍拂渡ヲ願フ者ハ左表ニヨリテ相渡スベシ
但文部省編纂ノ分ニ限ルベシ

第二十七條 書籍借用ヲ願フ者ハ左表ニ照シテ綴繕料ヲ納ムベシ

書名	發賣定價	發賣定價	廉價二分一
何々	幾何	幾何	減繕料

第六章

學歲及休業

第二十八條 第一期ハ九月一日ニ始マリ二月十四日ニ終ル第二期
ハ二月十五日ニ始マリ七月十五日ニ終ル

第二十九條 年中休業定日左ノ如ク

日曜日

夏期 七月十六日ヨリ
八月卅一日マテ

冬期 十二月廿五日ヨリ
翌年一月三日マテ

紀元節 二月十一日

天長節 十一月三日

明治九年一月改正

愛知師範學校

30

40

048571-000-8

特30-790

愛知師範学校規則

愛知師範学校

M9

BEJ-0005

